

授業計画（シラバス）

学科	住宅デザイン科	学年	1・2	区分	講義	科目	カラーコーディネート	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	公益社団法人色彩検定協会（A・F・T）の色彩検定2級検定試験に合格できる能力を身に付けさせる。									
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1・2	区分	講義	科目	ビジネス能力	総時間	前期	4.0×18	
									後期	2.0×17	
指導目標	ビジネス能力検定（B検）ジョブパス2級・3級に合格できる能力を身に付けさせる。										
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	講義1					1	講義19				
2	講義2					2	講義20				
3	講義3					3	講義21				
4	講義4					4	講義22				
5	講義5					5	講義23				
6	講義6					6	講義24				
7	講義7					7	講義25				
8	講義8					8	講義26				
9	講義9					9	講義27				
10	講義10					10	講義28				
11	講義11					11	講義29				
12	講義12					12	講義30				
13	講義13					13	講義31				
14	講義14					14	講義32				
15	講義15					15	講義33				
16	講義16					16	講義34				
17	講義17					17	講義35				
18	講義18										
備考											

学科	住宅デザイン科	学年	1・2	区分	講義	科目	福祉住環境コーディネーター	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	福祉住環境整備の基本的視点として欠かせない福祉の考え方をはじめ、福祉住環境コーディネーターの心構えと役割、関連専門職との連携のとり方、自立した住生活を支える施策をトータルに捉えるようにする。 東京商工会議所認定の福祉住環境コーディネーター2級検定試験に合格できる能力を身に付けさせる。									
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築施工管理技術	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	2級建築施工管理技術検定試験を合格を目標にして、入学してから学習した建築全般（計画・法規・構造・施工）の知識の総復習を行う。									
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	管工事施工管理技術	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	2級管工事施工管理技術検定試験の合格を目標に管工事に関する基礎知識、専門知識、施工管理、関係法規について修得させる。									
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	数学	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	<p>建築に必要な数学の基礎を習得することを目標とする。 使用する単位、面積計算に必要な図形、力学計算に必要な三角比・関数計算とグラフの関係・指数計算ができるようにする。</p>									
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	数について・整式の計算方法									
2	単位とその成り立ち									
3	比と比例について									
4	関数とグラフ									
5	一次関数									
6	"									
7	二次関数									
8	"									
9	指数法則と指数関数とは									
10	対数法則と対数関数とは									
11	図形について（幾何学）									
12	"									
13	三角比と三角関数とは									
14	ベクトル（線形性）について									
15	論理と集合について									
16	建設業で使う数学とは									
17	"									
18	まとめ									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築・インテリア概論	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	建築系の各分野で活躍されている方から業界の魅力を学び、自らの働く姿を想像し卒業後の目標を見つける手がかりとする。また、現場の実情なども知り社会的な課題と共に、今後の展望について技術者像をイメージするきっかけとする。									
評価方法	レポート・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	オリエンテーション/専門学校とは何か									
2	講義1 業界の現状と展望 (総合資格学院)									
3	講義2 ユニバーサルデザインと福祉住環境整備									
4	講義3 家づくりの仕事									
5	講義4 意匠設計の仕事									
6	講義5 施工管理の仕事									
7	講義6 建築設備の仕事									
8	講義7 インテリアスタイリング									
9	"									
10	講義8 ショップデザインの仕事									
11	"									
12	講義9 照明のデザインの仕事									
13	"									
14	講義10 BIMを使った仕事									
15	"									
16	講義11 社会人としての、コミュニケーションとプレゼンテーション									
17	発表会・まとめ									
18	"									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築・インテリア計画	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	<p>日常の生活と建築・インテリアとの関わりについて考えさせるとともに、建築・インテリア計画を進めるための基本事項を理解させ、過去の作品例を分析しつつ、未来に対応できる建築家としての能力を養う。生活空間のあり方を人間のサイズや行動からとらえたうえで、色、形、材質及び、その構成や、構造が及ぼす影響を理解し、創造的で豊かな建築・インテリアの計画を目指す姿勢を養う。</p>									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築計画									
2	"									
3	"									
4	"									
5	"									
6	"									
7	"									
8	"									
9	"									
10	インテリア計画									
11	"									
12	"									
13	"									
14	"									
15	"									
16	"									
17	"									
18	"									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築史 I	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	西洋建築（石の建築）と日本建築（木の建築）の歴史を全般的に学ぶことで、人間の暮らしと建築物、そして環境との関係性について知るきっかけとする。また、日本国内だけでなく世界の建築物を通して建築に対する見識を広げる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築史概論・茶室と数奇屋・近世の建築・民家									
2	近代建築の3大材料・現代建築									
3	近代建築									
4	エジプト・オリエント建築									
5	キリシヤ建築・ローマ建築									
6	初期キリスト建築・ビザンティン建築									
7	イスラム建築・ロマネスク建築									
8	ゴシック建築・ルネサンス建築									
9	バロック建築（リヴァイヴァル建築）									
10	"									
11	古代神社建築・仏教建築									
12	"									
13	古代の都市計画・住宅・浄土教の建築									
14	"									
15	中世の神社・仏教建築									
16	"									
17	中世の住宅建築（書院造）・城郭建築									
18	"									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	構造力学 I	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	<p>構造物（建築物）がいかにかに建っているのか、力はどのように働くのか、力学的な考え方の基礎を理解する。建築物がなぜこのような形をしているのか、どのように計画していくかを理解するための一歩目とする。以下の理解・習得を目標とする。</p> <p>(1) 力の性質と表現方法を理解する (2) 力を分解することができる (3) 反力を、力のつり合いをもとに単一材と簡単なラーメン構造で求めることができる</p>									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	構造力学とは何か？必要な算術、電卓の使い方									
2	力学の基礎（力とは、力のモーメント, 単位, 記号等）									
3	"									
4	力学の基礎（つり合い, 力の合成と分解）									
5	"									
6	構造物のモデル化, 荷重の種類									
7	"									
8	外力と反力（全般）									
9	"									
10	外力と反力（単純梁）									
11	"									
12	外力と反力（片持ち梁）									
13	"									
14	外力と反力（張り出し梁）									
15	"									
16	外力と反力（単純ラーメン）									
17	"									
18	まとめ									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築構造 I	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	木構造の基本的な組み方と部材を性質とともに理解し、「建築インテリア基礎製図演習」と連動して、図面を描いたり設計をする際の基礎知識を養う。二級建築士受験の上でも科目の1つとなっている分野であるので、受験を想定した問題にも取り組む。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	総説・建築構法の変遷・建築構造の分類									
2	木構造の概要 木構造を構成する各部材・木材の性質									
3	軸組・土台・柱									
4	桁・胴差									
5	筋違・火打・貫・間柱									
6	地付床（1階床組）									
7	上階床（1階床組）									
8	上階床（2階床組）									
9	小屋組									
10	”									
11	基礎・軸組・床組／断面算定									
12	小テスト 小屋組の考え方・寄棟屋根のかけ方									
13	”									
14	天井・壁・床									
15	”									
16	床の間回り・床脇・書院									
17	建具・階段									
18	まとめ									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	建築・インテリア基礎製図演習	総時間	前期	8.0×18
									後期	
指導目標	木造における基本的な設計図書一式（平面図・立面図・断面図・矩計図・展開図・伏図・仕上表）のトレースを通じて、線の描き方から図面として記載すべき項目や描き方の決まりごと等の基本的な製図技法を身に付け、覚える。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	ガイダンス・建築製図の説明基本技法の練習 線・文字・数字の練習									
2	" 表示記号									
3	木造2階建住宅 写図 平面図（1階）									
4	平面図（2階）									
5	断面図									
6	立面図									
7	"									
8	配置図・面積表									
9	基礎伏図・1階床伏図									
10	2階床伏図・小屋伏図									
11	矩計図									
12	"									
13	部分詳細図									
14	エスキース									
15	作図（立面図・断面図）									
16	作図（矩計図）									
17	総合提出									
18	講評会									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	ITリテラシー	総時間	前期	2.0×18	
									後期		
指導目標	パソコンの起動、終了、保存、マウス・キーボード操作、基本用語、PC各部の名称などの基本を学び、MicrosoftOfficeの操作を習得する。また、インターネットを活用する上での安全な使い方や、分析して活用する能力を身に着ける。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	パソコン基礎 パソコン初期設定・Officeインストール										
2	word基本										
3	"										
4	"										
5	"										
6	"										
7	excel基本										
8	"										
9	"										
10	"										
11	"										
12	PowerPoint基本操作										
13	"										
14	"										
15	"										
16	プレゼンテーション課題										
17	"										
18	発表										
備考											

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	建築・インテリアデザイン演習	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	建築・インテリアの職業に就くために必要な「空間」づくりの基本を学ぶことを目的とする。 課題を通して、以下の力を身に着けることを目標とする。 (1) 色を与えるイメージや基本的な色の構成を理解する (2) 空間創造のコンセプトワークによって、イメージを具体的な空間に落とし込む能力を養う (3) 模型を制作する基本的な技術と表現力を身につける。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	主張する形									
2	色相環									
3	"									
4	"									
5	"									
6	色彩構成									
7	"									
8	"									
9	"									
10	5Mキューブ									
11	"									
12	"									
13	"									
14	"									
15	"									
16	"									
17	"									
18	発表									
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	レンダリング演習 I	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	デッサンや着色、透視図等の基本的な表現技法を学ぶことで、プレゼンテーションで使える様々な表現方法を習得する。立体・空間の表現技術や図法・絵画技術を習得する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	似顔絵デッサン									
2	似顔絵デッサン 発表									
3	デッサン基礎 (グレースケールと立方体)									
4	デッサン基礎 (ビール瓶と空き缶)									
5	"									
6	アイソメ・アクソメ									
7	"									
8	"									
9	"									
10	グリッド									
11	"									
12	"									
13	1点透視									
14	"									
15	"									
16	2点透視									
17	"									
18	"									
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築計画	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	<p>建築計画を進めるための必要寸法や一般的な形状、またその考え方について、住宅を中心に理解を深める。過去の作品例も分析しながら、日常生活と建築との関わりについても学ぶ。 二級建築士受験の上でも科目の1つとなっている分野であるので、受験を想定した問題にも取り組む。</p>									
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期				回数	後 期				
					1	建築計画について（勉強の仕方）				
					2	人間と環境を考える1				
					3	人間と環境を考える2				
					4	人間と環境を考える3				
					5	人間と環境を考える4				
					6	住まいを計画する1				
					7	住まいを計画する2				
					8	住まいを計画する3				
					9	住まいを計画する4				
					10	【計画各論】 商店・ショッピングセンター				
					11	ホール・コミュニティセンター				
					12	事務所・学校・幼稚園・保育所				
					13	病院・福祉施設				
					14	図書館・美術館・博物館				
					15	集合住宅1				
					16	集合住宅2				
					17	テスト返却・解説				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	住居学	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	はじめに、戸建て住宅の設計に必要な基礎的な知識を学び、「建築製図演習」で実践することで住宅設計の基礎を習得できるようにする。そして、住まいをとりまく日本の歴史的背景や現代の社会問題を知り、住宅に携わる者としての見識を広く持てるようにする。また、人間の体の仕組みや高齢者についても知り、適切な住まいの空間設計ができるようになることを目標とする。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	住まいを取り巻く環境			
						2	"			
						3	サステナブル社会の住まい			
						4	"			
						5	住生活のあり方とその変遷			
						6	"			
						7	住まいの維持管理			
						8	"			
						9	住生活のための人間工学			
						10	"			
						11	住まいに必要な環境調整			
						12	アレルギーやシックハウス現象を起こさない住まい			
						13	子育て家族の住まい・シングルの住まい			
						14	高齢者の住まい			
						15	ユニバーサルデザイン・エクステリアデザイン			
						16	地球にやさしいエコ住宅			
						17	まとめ			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築構造Ⅱ	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	各種構造の概要を理解させ、設計等の実践に対する応用力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	RC造 RC造の特徴			
						2	主体各部の構造			
						3	"			
						4	"			
						5	基礎構造			
						6	"			
						7	"			
						8	RCの材料			
						9	"			
						10	柱・梁の配筋			
						11	"			
						12	壁式構造の特徴			
						13	耐力壁の壁厚及び壁量			
						14	S造 S造の特徴・構造概要			
						15	主体各部の構造			
						16	接合方法			
						17	溶接の種類			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築施工 I	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	建築の基礎的な施工方法、及び工事現場の業務・態度・習慣を習得させるとともに、施工の重要性について認識させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	建築施工概要			
						2	施工計画 I			
						3	施工計画 II			
						4	地盤			
						5	"			
						6	仮設工事 I			
						7	仮設工事 II			
						8	仮設工事 III			
						9	土工事			
						10	"			
						11	杭工事			
						12	"			
						13	鉄筋工事 I			
						14	"			
						15	鉄筋工事 II			
						16	"			
						17	まとめ			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築施工Ⅱ	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	<p>建築施工Ⅰに引き続き、建築物の基本的な施工方法や工事現場の業務を理解する。 建築施工Ⅱでは、理解が難しい鉄骨工事と外装の様々な仕上げについての施工方法を理解することを目標とする。二級建築士受験の上でも科目の1つとなっている分野であるので、受験を想定した問題にも取り組む。</p>									
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	鉄骨工事									
2	"									
3	"									
4	"									
5	コンクリートブロック工事									
6	ALCパネル工事									
7	防水工事									
8	"									
9	左官工事									
10	"									
11	タイル張り工事									
12	"									
13	石張り工事									
14	"									
15	建具工事									
16	ガラス工事									
17	断熱工事									
18	塗装工事									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	講義	科目	構造力学Ⅱ	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	<p>構造力学Ⅰで習得した考え方を基本とし、応力について理解することを目標とする。 また、構造力学Ⅲで習得する応力度の考え方の基本として、断面に関する数値と性質について学ぶ。具体的には以下を習得することを目標とする。</p> <p>(1) 部材の内部に生じる力（応力）を理解し、応力の求め方と応力図の基本的な描き方を身に着ける。</p> <p>(2) トラス構造の基本を理解し、トラスの軸方向力（応力）を求める力を身に着ける。</p> <p>(3) 断面の性質を理解し、図心、断面二次モーメント、断面係数を求める力を身に着ける。</p> また、二級建築士受験の上でも出題範囲となるので、受験を想定した問題にも取り組む。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期				回数	後 期				
					1	反力のまとめ				
					2	応力（単純梁の応力）				
					3	"				
					4	"				
					5	"				
					6	応力（片持梁の応力）				
					7	"				
					8	"				
					9	応力（静定ラーメンの応力）				
					10	"				
					11	"				
					12	"				
					13	応力（静定トラスの応力）				
					14	"				
					15	"				
					16	"				
					17	まとめ				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	構造力学Ⅲ	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	<p>以下について、考え方を理解した上で基礎的な計算ができること目標とし、二級建築士受験を想定した問題にも取り組む。</p> <p>(1) 応力度を理解し、許容応力度から部材の安全性を判定できる力を身に着ける。 (2) 部材の形状と座屈・たわみの関係を理解し、座屈荷重や座屈長さ、たわみの大きさについて大小を比較検証できる力を身に着ける。 (3) 弾性と塑性について理解し、崩壊荷重を求められる力を身に着ける。 (4) 不静定構造物について、基礎的な解法を理解する。</p>									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	応力度									
2	応力度									
3	応力度									
4	部材と座屈									
5	部材と座屈									
6	静定構造物と不静定構造物									
7	静定構造物と不静定構造物									
8	静定構造物の解法									
9	静定構造物の解法									
10	不静定構造物の解法									
11	不静定構造物の解法									
12	弾性と塑性									
13	弾性と塑性									
14	弾性と塑性									
15	塑性設計の概念									
16	塑性設計の概念									
17	塑性設計の概念									
18	まとめ									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	環境工学	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	室内の環境設計に必要な空気、熱、光、音等の環境要素について、人間や建築物に関わるものを中心として、物理的な考え方を基礎から学ぶ。また、それらの知識を生かした具体的な設計事例を知ることによって理解を深め、演習課題で知識を活用できるようになることを目標とする。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	気候（1）概論									
2	伝熱と結露（1）伝熱									
3	伝熱と結露（2）空気線図									
4	伝熱と結露（3）結露									
5	換気と通風（1）自然換気									
6	換気と通風（2）機械換気									
7	日照と日射（1）太陽位置									
8	日照と日射（2）日照と日影									
9	日照と日射（3）日射									
10	光環境（1）測光量									
11	光環境（2）採光									
12	光環境（3）照明									
13	色彩									
14	音環境（1）音の性質									
15	音環境（2）騒音・遮音									
16	音環境（3）音響計画									
17	都市環境（1）気象									
18	都市環境（2）都市環境									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	住宅デザイン史	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	近代住宅の発展過程と設計理論から、住まいに影響を及ぼす時代背景やデザインの意図をひも解くことによって、これからの住まいのあり方を主体的に考えていくための創造力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	外国人居留地と西洋館									
2	上流階級の住まいとその近代化									
3	中流階級の住宅と和洋折衷のデザイン									
4	日本人建築家の住宅設計とヨーロッパの影響									
5	住宅改良運動									
6	都市政策と住宅地・田園都市									
7	都市の住まいと集合住宅・同潤会									
8	スパニッシュスタイル・F. Lライトの影響									
9	「新日本住宅」の試み									
10	国際建築様式の導入・コルビュジェの住宅									
11	戦時下における住宅政策・国民住宅									
12	戦後復興と住まい・住宅の工業化									
13	戦後の住宅政策・建築家の提案									
14	集合住宅とニュータウン計画									
15	都市型住宅									
16	住宅の商品化・輸入住宅・民間マンション									
17	現代の住まい									
18	住まいの可能性・まとめ									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築法規 I	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	建築基準法の読み方・引き方を理解し、主に住宅設計にどのように影響するのか、基本的な規定（単体規定）を理解する。また、演習を通じて実務でも対応できる力の習得につなげる。二級建築士受験の上でも科目の1つとなっている分野であるので、受験を想定した問題にも取り組む。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築法規の概要									
2	建築基準法（用語の定義1）									
3	"（用語の定義2）									
4	"（面積の算定）									
5	"（高さ・階数の算定）									
6	"（集団規定の概要）									
7	"（用途地域と用途制限）									
8	"（道路と敷地）									
9	"（容積率）									
10	"（建ぺい率）									
11	"（高さ制限の概要）									
12	"（道路斜線）									
13	"（隣地斜線・北側斜線）									
14	"（日影規制・天空率）									
15	"（単体規定の概要）									
16	"（一般構造1）									
17	"（一般構造2）									
18	"（一般構造3）									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築法規Ⅱ	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	建築基準法及び関係法令について、建築法規Ⅰに引き続き、基本的な規定（集団規定）を理解すると共に、演習を通じて能力を養うことで実務でも対応できる力の習得につなげる。二級建築士受験の上でも科目の1つとなっている分野であるので、受験を想定した問題にも取り組む。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期				回数	後 期				
					1	建築基準法（防火規定関係の用語1）				
					2	"（防火規定関係の用語2）				
					3	"（避難施設1）				
					4	"（避難施設2）				
					5	"（避難施設3）				
					6	"（内装制限1）				
					7	"（内装制限2）				
					8	"（耐火建築物・準耐火建築物）				
					9	"（防火・準防火地域）				
					10	"（防火区画）				
					11	"（構造関係規定）				
					12	"（制度規定1）				
					13	"（制度規定2）				
					14	"（工事現場の安全）				
					15	関係法令（建築士法）				
					16	"（都市計画法・建設業法）				
					17	"（消防法・品確法ほか）				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	構造設計	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	<p>まず、構造設計の基本的な方針と構造設計におけるルート（流れ）があることを学ぶ。 そして、習得した構造力学の知識も活用しながら、構造設計で必要となる力の法則について理解した上で、建築物に対して発生する荷重や風圧力や地震力など具体的な設計に必要な考え方を数値と共に学ぶ。また、構造種別による性質と部材の検討方法について理解することを目標とする。</p>									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	構造設計の流れ			
						2	建築物に働く荷重（短期荷重、長期荷重）			
						3	建築物に働く荷重（短期荷重、長期荷重）			
						4	構造種別と特色（W構造）			
						5	構造種別と特色（W構造）			
						6	構造種別と特色（RC構造）			
						7	構造種別と特色（RC構造）			
						8	構造種別と特色（S構造）			
						9	構造種別と特色（S構造）			
						10	地盤と基礎			
						11	地盤と基礎			
						12	地盤と基礎			
						13	地盤と基礎			
						14	二次設計の内容			
						15	二次設計の内容			
						16	二次設計の内容			
						17	二次設計の内容			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築材料	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	<p>建築に使われる材料の知識を幅広く全般的に理解し、卒業制作にも活かすことを目標とする。 材料の特徴を踏まえた上で内装材まで丁寧に選び、説得力のある作品づくりに励むことを期待する。</p>									
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
週	前 期					週	後 期			
						1	概要			
						2	木材			
						3	"			
						4	コンクリート			
						5	"			
						6	鋼材			
						7	"			
						8	非鉄金属材料			
						9	石材			
						10	ガラス・陶磁器			
						11	左官材料			
						12	プラスチック			
						13	塗 料・接着剤			
						14	外壁パネル・カーテンウォール			
						15	内装材料(床・壁・天井)			
						16	防水材料・シーリング材			
						17	防火・断熱・防音材料			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築・住宅設備	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	住宅における「設備」とは何かを理解し、建築一般の設備の役割および種類・構成を学ぶ。また、地球環境問題と建物の省エネルギーとの関わりについて理解し、社会情勢を踏まえた住宅のあり方を考えられるようになることを目標とする。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	建築設備とは/給水設備(1)			
						2	給水設備(2)			
						3	給湯設備			
						4	ガス設備			
						5	排水通気設備			
						6	排水処理設備・衛生器具設備			
						7	消火設備			
						8	空気調和設備とは/空気調和と室内環境			
						9	空気の状態・空気線図			
						10	空調負荷			
						11	空気調和方式			
						12	熱源方式			
						13	空気調和機器と部材			
						14	換気・排煙設備			
						15	電気設備とは/受変電・幹線設備			
						16	照明・コンセント設備			
						17	情報・通信設備、搬送設備			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	講義	科目	住環境コミュニティデザイン	総時間	前期	
									後期	4.0×17
指導目標	都市計画・地域計画に関する住宅をとりまく環境について、実践的なワークも行いながらどうやって「まち」はできるのか等、地域や都市についての考え方を学ぶ。また、「町づくり」への関わりあいや、住宅を建築することによる周囲に与える影響などを掘り下げて考えられるようにし、住宅設計への視野を広げることを目標とする。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	都市デザインの枠組み①			
						2	都市デザインの枠組み②			
						3	都市の歴史と都市デザインの沿革①			
						4	都市の歴史と都市デザインの沿革②			
						5	都市の総合的計画①			
						6	都市の総合的計画②			
						7	土地利用計画			
						8	都市環境計画			
						9	都市基盤施設の計画①			
						10	都市基盤施設の計画②			
						11	景観計画			
						12	コミュニティ計画			
						13	再開発事業の計画①			
						14	再開発事業の計画②			
						15	安全・安心の計画			
						16	地域まちづくり計画			
						17	デザイン論・歴史的建築物(重要文化財等)の保存等・まとめ			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	建築製図演習	総時間	前期	
									後期	8.0×17
指導目標	<p>木造2階建住宅の設計を通じ、</p> <p>(1) 「建築・インテリア基礎製図演習」で学んだことを振り返り、必要図面と記入事項を覚える</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計図書の理解（配置図、平面図、立面図、断面図、矩計図、展開図、仕上表） 各設計図書に印すべき事項 <p>(2) 住宅の設計において考慮すべき基本的な事を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> 住み心地を考慮した部屋の配置 人間の寸法に合った適切な部屋や廊下、家具等の大きさ 最低限の法規チェックとして、容積率、建ぺい率、北側斜線の計算ができる <p>(3) 木構造への理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> どこに柱を配置すればよいのか、また、柱スパンの上限値を理解する 梁が架かる位置と梁のサイズを算出する手法を知る 断面図を描く際に、天井裏のふところを理解する 									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	木造2階建住宅の設計 要項説明・エスキース			
						2	エスキース			
						3	"			
						4	"			
						5	"			
						6	"			
						7	"			
						8	作図			
						9	"			
						10	"			
						11	"			
						12	"			
						13	"			
						14	"			
						15	"			
						16	"			
						17	提出			
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	CAD演習	総時間	前期 後期	4.0×17
指導目標	現在の建築技術者にとってITスキルは不可欠であるため、その一つとしてCADによる図面作成技術を、業界で最も使用されているソフトを用いて習得させる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期				回数	後 期				
					1	JW_CADインストール&基本操作				
					2	基本操作 ※一日のまとめ「図形作図①」				
					3	" ※一日のまとめ「図形作図②」				
					4	マンション平面図作図				
					5	"				
					6	出力&チェックバック ※線幅等確認				
					7	簡単な図面トレース				
					8	マンション敷地図、日影図、天空図				
					9	マンション立面図作図				
					10	出力&チェックバック ※線幅等確認				
					11	マンション2.5D作図				
					12	ArchicadインストールArchicad操作① RC造3階建事務所ビル作図				
					13	Archicad操作② RC造3階建事務所ビル作図				
					14	Archicad操作③ RC造3階建事務所ビル作図				
					15	Archicad操作④ RC造3階建事務所ビル作図				
					16	Archicad操作⑤ RC造3階建事務所ビル作図				
					17	Archicad操作⑥ RC造3階建事務所ビル作図				
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	設計演習 I	総時間	前期	
									後期	4.0×17
指導目標	住まいのアイデアが形となって完成するまでの設計プロセスに注目し、一般的な住戸の形式にとらわれず、空間を自由に発想することで、住宅デザインの軸となる設計力を養う。また、設計したものをコンペに応募する状況を想定して、作品として伝えることを意識した見せ方を学ぶ。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	設計課題Ⅰ（最小限住宅）	課題説明・設計の進め方		
						2	エスキース			
						3	作 図			
						4	作品評価・発表会			
						5	設計課題Ⅱ（大阪府公共建築設計コンクール）	課題説明・現地調査		
						6	エスキース			
						7	"			
						8	作 図			
						9	"			
						10	作品評価・発表会			
						11	設計課題Ⅲ（仕事の空間）	課題説明・実例研究		
						12	エスキース			
						13	"			
						14	作 図			
						15	"			
						16	"			
						17	作品評価・発表会			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	演習	科目	設計演習Ⅱ	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	単位空間を基本とした、設計技術の総合性に立脚した計画方法・表現技法を習得させる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	設計課題Ⅰ（RC造中層共同住宅設計） 課題説明・エスキース									
2	エスキース									
3	"									
4	作 図（平面図）									
5	"（"）									
6	"（"）									
7	"（断面図）									
8	"（断面図・立面図）									
9	"（立面図）									
10	設計課題Ⅱ（RC造マンションリフォームデザインコンペ） 課題説明・エスキース									
11	エスキース									
12	"									
13	作 図(改修前 平面図)									
14	"（改修後 平面図）									
15	"（改修後 平面図）									
16	"（改修後 パース）									
17	作品評価・発表会									
18	設計課題Ⅲ（即日設計） 課題配布・図面作成・発表・評価									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	演習	科目	エクステリアデザイン演習	総時間	前期	4.0×18	
									後期		
指導目標	エクステリア（外構）について、道路から玄関までのアプローチ、塀やカーポートに至るまで、庭を含めた住宅まわりの計画手法から表現方法までを学ぶ。利便性だけでなく、いかに美しくデザインするか、人間と自然との関係や住宅と周辺環境との関係を考えてデザインとはどのようなものかを追求する。また、提案する際の表現方法としてパースやプラン図の描き方の基本を、演習課題をとおして習得することを目標とする。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	エクステリアデザインの概要・事例紹介日本の庭園・世界の庭園										
2	ビオトープについて・植栽について 住宅の外構・現代建築の外構・原風景の記憶										
3	ガレージ・カーポート エクステリア建材・マテリアルについて										
4	課題1 住宅の外構設計（要項説明）										
5	"（エスキス）										
6	"（エスキス）										
7	"（プラン図・パース作成）										
8	"（プラン図・パース作成）										
9	"（マテリアルセレクト）										
10	"（マテリアルセレクト）										
11	"（提出）課題2 集合住宅の外構設計（要項説明）										
12	"（エスキス）										
13	"（エスキス）										
14	"（プラン図・パース作成）										
15	"（プラン図・パース作成）										
16	"（マテリアルセレクト）										
17	"（マテリアルセレクト）										
18	"（提出）										
備考											

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	演習	科目	福祉住環境リフォーム演習	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	<p>住宅では、時と共に住みづらくなる事例が様々ある。授業では、どのような事例が考えられるのかを学ぶと共に、どのようにリフォームをすれば豊かで安心できる生活ができるのかを考えていく。バリアフリーの考えに基づいた居住空間や、ユニバーサルデザインなどといった福祉の観点から住まいづくりができる力をリフォームプランの制作課題を通して身に着けることを目標とする。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	バリアフリーケーススタディ①									
2	バリアフリーケーススタディ②									
3	バリアフリーケーススタディ③									
4	バリアフリーケーススタディ④									
5	住宅リフォームケーススタディ①									
6	住宅リフォームケーススタディ②									
7	住宅リフォームケーススタディ③									
8	住宅リフォームケーススタディ④									
9	増築プラン①									
10	増築プラン②									
11	増築プラン③									
12	増築プラン④									
13	ショールーム見学									
14	修了制作課題 課題説明									
15	課題作成									
16	課題作成									
17	課題作成									
18	修了制作課題 発表									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	演習	科目	卒業制作	総時間	前期	
									後期	8.0×17
指導目標	<p>今までに各科目で習得した知識や技術を総合して、一つの作品制作を行う。主に、以下の住宅設計における基本的な考え方と作図能力を発揮し、表現することを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題、目的の発見から解決、達成までのプロセスを考える力（テーマ設定～エスキス） ・課題、目的に対する答えを住宅として適格に空間に置き換える力（エスキス～基本設計） ・考えを形にして表現する能力（基本設計～実施設計：作図や模型、その他必要図書の理解） ・作品をより伝わる方法でプレゼンテーションする力（発表） 									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	卒業設計 コンセプト・ゾーニング			
						2	"			
						3	エスキス敷地模型制作			
						4	"			
						5	基本設計			
						6	"			
						7	"			
						8	中間発表基本設計図提出			
						9	詳細設計			
						10	"			
						11	"			
						12	模型制作			
						13	"			
						14	プレゼン資料作成模型仕上げ			
						15	"			
						16	科内発表			
						17	図集提出			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	演習	科目	プレゼンテーション演習	総時間	前期	
									後期	4.0×17
指導目標	<p>自分の考えを他者にうまく伝えるという事は、非常に重要であり、その機会は増える一方である。さまざまなシチュエーションで話ができるように、デジタルツールを利用しての話し方やスライドデザインなど、プレゼンテーションのスキルアップを向上させる。</p>									
評価方法	<p>課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期				回数	後 期				
					1	オリエンテーション				
					2	課題① 自分の好きなもの・ことのプレゼン				
					3	"				
					4	"				
					5	"				
					6	課題② 卒業設計の設計概要のプレゼン				
					7	"				
					8	"				
					9	"				
					10	発表				
					11	課題③ 卒業制作プレゼンボード作成				
					12	"				
					13	"				
					14	"				
					15	"				
					16	"				
					17	課題提出				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	演習	科目	照明デザイン演習	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	照明が空間へもたらす効果や心理面への影響を理解した上で、器具についての基礎知識から選定の基準、住宅における配灯計画の手法を学ぶ。また、住宅の照明計画の課題を通して、設計実務の基礎能力を高めることを目標とする。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	「照明」について			
						2	”			
						3	光と心理・生理			
						4	”			
						5	”			
						6	光源（ランプ）			
						7	”			
						8	”			
						9	照明器具（ショールーム見学会）			
						10	”			
						11	”			
						12	住宅の照明について 課題：住宅の照明計画			
						13	”			
						14	”			
						15	課題：住宅の照明計画			
						16	”			
						17	”			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	インテリアスタイリング演習	総時間	前期	4.0×17
									後期	
指導目標	住まいのインテリアコーディネーションのための技術・知識を養うために、住空間を構成する様々なエレメントと、住まい手のかかわりについて、人間工学、人体寸法、動作空間、空間の心理などを踏まえて的確にとらえる力をつける。 また、クライアントのライフスタイルの分析や、住宅やインテリア業界におけるマーケティングを含めたニーズの把握について学び、発想力を培う。そのために、カラーやフォルム、テクスチャを活用して、いかに空間に、クライアントの個性を落としこみ、調和の取れたインテリアを創造していくかを理解する									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	オリエンテーション、コーディネート体験			
						2	カラー基礎 1、2			
						3	配色基礎 1、2			
						4	イメージ表現（イメージを作る要素）			
						5	"			
						6	イメージ分析（色の抽出からイメージの分析まで）イメージ分析のプレゼンテーション			
						7	"			
						8	スタイリングボード制作			
						9	"			
						10	インテリアモジュール（人体寸法と家具寸法、動作空間など）/家具レイアウト			
						11	"			
						12	MY ROOM STYLING 製作（商品選択）			
						13	"			
						14	MY ROOM STYLING 製作（ボード作成）			
						15	"			
						16	プレゼンテーション			
						17	"			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	演習	科目	デジタルプレゼンテーション演習	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	色彩・レイアウトなどグラフィックデザインの基礎を学び、建築・インテリアのプレゼンテーションにおける図面・ボード・ドキュメント等のデジタルによる表現方法を習得する。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。 課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	Illustrator①			
						2	Illustrator②			
						3	Illustrator③			
						4	Illustrator④			
						5	Illustrator⑤			
						6	Illustrator⑥			
						7	Illustrator⑦			
						8	Illustrator⑧			
						9	Photoshop①			
						10	Photoshop②			
						11	Photoshop③			
						12	Photoshop④			
						13	Photoshop⑤			
						14	Photoshop⑥			
						15	Photoshop⑦			
						16	Photoshop&Illustrator プレゼンボード作成			
						17	"			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	演習	科目	B I M演習	総時間	前半	4.0×18
									後半	4.0×18
指導目標	設計演習Ⅱの課題を、BIMモデルで作成することにより、BIMによる設計の手法を身につける。 BIMへの入門として、ArchiCADの基本操作を修得する。また、課題を与え、実際に図面を作成することで、2次元CADとの違いやBIMによる設計の基本を理解する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期 (前 半)					回数	前 期 (後 半)			
1	【デコルームコンペ】エスキス					1	ArchiCADで図面を描く (RC造2階建事務所ビル)			
2	エスキス					2	"			
3	BIMモデル作成					3	"			
4	"					4	"			
5	"					5	"			
6	"					6	"			
7	図面のまとめ・発表用PP作成					7	"			
8	"					8	"			
9	"					9	"			
10	"					10	"			
11	【共同の住まい】要項説明・エスキス					11	"			
12	エスキス					12	"			
13	"					13	"			
14	"					14	"			
15	BIMモデル作成・作図					15	"			
16	"					16	"			
17	"					17	"			
18	発表会・提出					18	課題提出			
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	演習	科目	住空間デザイン演習	総時間	前期 後期	4.0×17
指導目標	1年次には、図面作成における基本的なルールや正確に「描く」ことを中心に習得してきた。発展科目である「テクニカル製図演習」では、様々な敷地形状に対する基本的な住宅のエスキスを繰り返し実践する課題を通して、住宅設計の要領をつかみ、プランニング手法を追求することを目的とする。戸建て住宅を中心として、住み手を想定した間取り(空間)づくりができるようになることを目標とする。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期				回数	後 期				
					1	住宅プランニングの引き出しを増やす方法				
					2	"				
					3	エスキスプランニング課題①				
					4	エスキスプランニング課題②				
					5	エスキスプランニング課題③				
					6	卒業制作エスキス				
					7	"				
					8	デザインと各部納まりについて				
					9	"				
					10	美しい外観のつくりかた1 (屋根の納まり)				
					11	美しい外観のつくりかた2 (開口部納まり)				
					12	内部空間のつくりかた1 (階段など)				
					13	内部空間のつくりかた2 (キッチンなど)				
					14	各部詳細				
					15	各部詳細				
					16	各部詳細				
					17	講評				
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	演習	科目	古民家リノベーション演習	総時間	前期 後期	2.0×17
指導目標	伝統的な建築物には、その土地土地の気候や時代背景に加え、多くの知恵と工夫が詰まっている。それらをひも解きながら、古民家の再生リフォームに必要な知識や考え方を学ぶ。また、見学を通して伝統的な木造住宅における工法・材料・道具等の知識を習得し、リフォームの実例から古民家再生の手法を学ぶ。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	オリエンテーション			
						2	伝統木造と現代木造の違い			
						3	"			
						4	"			
						5	"			
						6	古民家の解体から修理、組み立てまで			
						7	"			
						8	"			
						9	"			
						10	エコリフォームの考え方			
						11	"			
						12	"			
						13	"			
						14	大工道具と伝統工法（見学）			
						15	野帳図の描き方と住宅（見学・演習）			
						16	"			
						17	"			
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	1	区分	実習	科目	アッセンブリアワー (A S H)	総時間	前期	2.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	学校生活を通して、充実した学びと自己実現を図れるようになることを目的として、以下の力を身に着けることを主な目標とする (1) 学校行事やクラス運営に関することを理解し、管理する力 (2) 自らの意志で継続的に学習し、困難を乗り越える力 (3) 自らが自主的に進路決定を行える力									
評価方法	レポート・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	軽井沢研修ガイダンス					1	緑地祭の準備			
2	個人面談					2	就職ガイダンス			
3	住宅総論 (住居学)					3	住宅総論 (建築・インテリア施工基礎)			
4	住宅総論 (住居学)					4	進路指導 自己分析			
5	課外授業ガイダンス					5	住宅総論 (建築・インテリア施工基礎)			
6	"					6	進路指導 業界研究			
7	個人面談					7	住宅総論 (建築・インテリア施工基礎)			
8	住宅総論 (建築・インテリア計画基礎)					8	住宅総論 (建築・インテリア施工基礎)			
9	住宅総論 (建築・インテリア計画基礎)					9	進路指導 自己PR			
10	住宅総論 (建築・インテリア計画基礎)					10	住宅総論 (建築・インテリア施工基礎)			
11	夏休み直前ガイダンス					11	住宅総論 (建築法規基礎)			
12	期末試験ガイダンス・施工実習(富士) について					12	冬休み直前ガイダンス			
13	課外授業ガイダンス					13	エントリーシート (履歴書)			
14	住宅総論 (建築・インテリア計画基礎)					14	住宅総論 (インテリア法規基礎)			
15	個人面談					15	住宅総論 (環境工学基礎)			
16	住宅総論 (建築・インテリア計画基礎)					16	住宅総論 (環境工学基礎)			
17	住宅総論 (建築・インテリア計画基礎)					17	1年次修了ガイダンス・ポートフォリオ作成について			
18	住宅総論 (建築・インテリア計画基礎)									
備考										

学科	住宅デザイン科	学年	2	区分	実習	科目	アッセンブリアワー (ASH)	総時間	前期	2.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	学校生活を通して、充実した学びと自己実現を図れるようになることを目的として、以下の力を身に着けることを主な目標とする (1) 学校行事やクラス運営に関することを理解し、管理する力 (2) 自らの意志で継続的に学習し、困難を乗り越える力 (3) 自らが自主的に進路決定を行える力									
評価方法	レポート・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	進級ガイダンス・行事委員について 卒業制作について					1	日建学院の説明会			
2	スポーツ大会について・インターンシップ希望調査 資格ガイダンス					2	住宅総論（住宅照明デザイン概論）			
3	就職活動について					3	秋のイベントについて			
4	住宅総論（建築・インテリア施工基礎）					4	秋のイベントアンケート			
5	住宅総論（建築・インテリア施工基礎）					5	就職指導			
6	住宅総論（住宅設備概論）					6	就職指導			
7	住宅総論（住宅設備概論）					7	就職指導			
8	住宅総論（住宅設備概論）					8	就職指導			
9	住宅総論（住宅設備概論）					9	住宅総論（構造設計基礎）			
10	住宅総論（インテリア材料概論）					10	住宅総論（構造設計基礎）			
11	住宅総論（インテリア材料概論）					11	住宅総論（家具概論）			
12	住宅総論（インテリア材料概論）					12	住宅総論（家具概論）			
13	ポートフォリオ制作					13	卒業制作確認			
14	ポートフォリオ制作					14	住宅総論（パース技法）			
15	ポートフォリオ制作					15	卒業制作確認			
16	ポートフォリオ制作					16	住宅総論（パース技法）			
17	住宅総論（古民家リノベーション概論）					17	後期試験について卒業成果・制作発表会について			
18	住宅総論（古民家リノベーション概論）									
備考										